

維持会員及び東京中野ライオンズスクラブの皆様へ
**進級した奨学生の皆さんから、
 この一年間の様子、近況をお知らせします。**

「新型コロナウイルスによって」

N・K

この一年は新型コロナウイルスによりほとんどの事ができなくなってしまいました。私が学校生活の中で楽しみにしている部活動も緊急事態宣言の発令により後半はなくなってしまい、私の学校の一つの魅力である修学旅行も中止になってしまいました。楽しみがなくなり非常に残念ですが、受験のために勉強に励みたいと思います。

「一年を振り返って」

M・Y

この一年、高校生活は忙しく、あっという間に時間が過ぎて行きました。コロナ禍ということもあり、部活動ができず家にいる時間が多くありました。ですがこの期間で自分が将来やりたいことを考えることができました。いままで得た様々な知識や物の見方を更に高いステップでもう一年勉学に励みたいとおもいます。

「広く深い世界」

M・R

この一年で私は甘受できたはずの経験の代わりに今までなかった、しえない経験を勝ち取りました。ビデ

オ通話アプリや文字で残るチャット機能を利用したオンライン授業です。

次々と新しい授業の形が見出され電子機器の扱いに長けない私の世界が広がった気分です。この感動や興味は生涯大切にすべきと思います。今年も大変ありがとうございました。

「先の見えない未来に向けて」

Y・N

今年度は自分だけでなく多くの日本人にとって異質な一年であっただろう。コロナという病に怯え、学ぶ機会、旧友との交流、諸活動の停止など多くの苦労があった年であったが、これらを理由に人生は止まってはくれない。

来年は高校最後の年である。今一度自分を見つめ直し、どのような形で社会に参加するか、それを考え、歩む一年にしたい。

「さらなる成長の一年」

Y・M

この一年で特に印象的だったのは、コロナ禍で縮小された文化祭です。今年はクラスで映画を撮ることになり、カメラワークやカット割りを考えると、この一年で特に印象的だったのは、

かったです。脚本も去年より大人っぽいコメディに仕上げることができ、とても充実した文化祭準備でした。今年受験生なので、努力を積み重ね頑張っていきたいと思います。

「一年を振り返って」

S・C

自宅での自粛期間から始まった高校生活。今までと違う生活様式、新しい環境での毎日。学校の行事もなくなり、不安で一杯でしたが、自分なりに努力できた一年だったと思います。来年度は、目の前の事をこなすだけでなく、将来のためにもっと多くのことにチャレンジしたいなと思います。

「コロナ禍での頑張り」

S・K

私は推薦で入学したため、一般で合格した人に比べ、学力が劣っているのではないかと考え、コロナの自粛期間中は不安感で一杯だった。

そこで、毎日計画を立て勉強に励んだ。その成果が出て、最初のテストでは良い点数を取れた。コロナ禍は私にとってプラスに作用し、自信を持つことができた。このまま気を抜かず頑張っていきたいと思う。

「初めてと成長」

T・B

長いようであつという間に過ぎた今年一年には、たくさんの「初めて」がありました。初めてのテニス

や初めての文化祭。これらを通じて、自分の技術の向上や、友達と協力しながら何かを作りあげたという成長を得られました。そして、奨学生として選んで頂けた事に感謝すると同時に、奨学生としての自覚を持ち、学習面の更なる向上を目指してこれからも頑張ります。

「感謝の大切さ」

N・H

まず、教育振興会の皆様、日ごろ貴重なご支援を賜り、ありがとうございます。この一年間で当たり前は無いことに気付かされました。部活や行事、そして休み時間の行動まで当たり前になっていたことが制限されました。当たり前と思わず、しっかりと感謝の気持ちを持ち、残り二年間の高校生活を全力で楽しみたいと思います。

「一年の振り返り」

M・K

新型コロナウイルスの影響で学校が始まるのが遅くなったり、行事がなくなってしまうましたが、新しい友人達とともに充実した日々を過ごすことができました。

高校の勉強は、授業速度が速くついていくのが精一杯で部活動との両立が大変でした。残り二年間、計画的に過ごし学業・部活動共にいい結果を出せるようにしたいと思います。